美 術 振 興

1　大分市美術館

所在地　大分市大字上野865番地
電話　554-5800
FAX　554-5811

(1) 運営方針

大分市美術館は、緑豊かな上野丘子どものもり公園内に位置し、「たのしんで・みて・まなぶ美術館」として、だれもが気軽に美術を楽しめる場と機会を提供している。

年間を通じて所蔵の美術品が鑑賞できるコレクション展（常設展）やさまざまな分野の優れた美術を紹介する特別展の開催、各種講座・講演会の開催など、こどもから大人まで幅広く楽しめる生涯学習施設としての美術館運営をめざしている。

また、特色ある地域の美術文化情報を広く発信するとともに、開かれた美術館として市民との協働による運営を推進している。

(2) 施設の概要

平成11年２月　開館
敷地面積　129,837㎡（公園全体）
建築面積　6,623.51㎡
延床面積　9,085.00㎡
展示室面積　2,097.81㎡
構　造　鉄筋コンクリート造・一部鉄骨鉄筋コンクリート造２階建

(3) 収集方針

① 豊後南画をはじめ、大分市にゆかりのある作家の優れた作品
② 美術史的展望に立ち、近・現代を中心とした芸術的に価値のある内外の作品
③ 将来方向として重視される環太平洋地域の美術についての作品
④ 歴史的文化遺産として貴重な美術資料

(4) 利用案内

開館時間　午前10時～午後６時（入館は午後５時30分まで）
休 館 日　月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）
※第１月曜日は開館し、翌日の火曜日が休館（ただし、特別展会期中の火曜日は開館する）
年末年始（12月28日～１月４日）
観 覧 料　コレクション展（常設展）
一　　般　310円(団体260円)
高・大学生　210円(団体150円)
小・中学生　無料
障がい者（身体障害者手帳等提示）全額減免
※団体は20名以上
※令和７年10月１日から料金改定予定
特別展
その都度決定（特別展の観覧料で常設展も鑑賞できる）
研 修 室　使用料　１時間　1,100円
※冷暖房期間中は４割増しとする。
※令和７年10月１日から使用料改定予定

■交通機関
バ　ス　「JR大分駅上野の森口（南口）」乗り場から大分きゃんバス「大分市美術館方面」行き約６分。
タクシー　ＪＲ大分駅上野の森口（南口）から約５分。
車　東九州自動車道／大分ＩＣから約10分。

「遊星散歩（安藤　泉作）」

⑸ 利用状況（令和６年度）

① 観覧者

総観覧者（令和６年度）

区　分	常設展	特別展	計
一　　般	24,661人	43,841人	68,502人
高・大生	1,456人	2,757人	4,213人
小・中生	14,067人	14,818人	28,885人
計	40,184人	61,416人	101,600人

特別展観覧者（共催展含む）

展覧会名	期　　間	観覧者
ロートレックとベル・エポックの巴里-1900年	令和６年 ４月19日～ ６月９日	9,214人
佐藤健寿展　奇界/世界	６月28日～ ９月23日	27,808人
笠岡市立竹喬美術館名品展 うつりゆく自然を描く 小野竹喬の世界	10月４日～ 11月17日	5,200人
第63回「福田平八郎賞」 第56回「朝倉文夫賞」 大分市小・中、特別支援 学校図画・彫塑展	11月28日～ 12月８日	5,524人
第73回大分県高等学校 文化連盟書道・写真 中央展	12月12日～ 12月15日	1,034人
第76回大分県立芸術緑丘 高等学校美術制作展	12月17日～ 12月22日	1,923人
Olectronica Newland〈O〉	令和７年 １月10日～ ２月16日	6,053人
第59回大分市美術展	２月28日～ ３月22日	4,660人
計	247日	61,416人

② 研修室

利用件数	利用者数
190件	3,372人

⑹ チャイルドハウス

上野丘子どものもり公園内、市美術館と隣接する場所にあり、誰でも無料で自然や芸術に触れながら絵画・工作などの体験学習ができる施設である。

① 施設概要　延床面積　302.27㎡
　体験学習室　２室
② 開館時間　午前10時～午後６時
③ 休 館 日　月曜日（祝日の場合は開館し翌日が休館）
　12月28日～１月４日
④ 貸　　出　１室のみ貸出可。使用料１時間220円
　※冷暖房期間中は４割増しとする。
　※令和７年10月１日から使用料改定予定
⑤ 利用者数（令和６年度）　9,444人

2　令和７年度　主要な事業

大分市美術館では、幅広い世代が大分ゆかりの美術はもとより、国内外のさまざまな分野の美術を鑑賞できる機会や、創作活動に気軽に参加し作品が発表できる機会の拡大を図っている。

⑴　展覧会事業

①　特別展

展　覧　会　名	会期・開館日数	内　　容
迷路とお城で遊ぼう！ 香川元太郎絵本原画展	４月４日（金）～ ５月11日（日） 35日間	絵本作家・イラストレーターとして活躍し、惜しまれながら2024年に亡くなった香川元太郎。累計300万部を発行しベストセラーとなった「迷路絵本」と、香川のもう一つの代表作である「歴史考証イラスト」の原画を一堂に展示。
響きあう絵画 宮城県美術館コレクション カンディンスキー、高橋由一から具体まで	５月18日（日）～ ６月22日（日） 32日間	宮城県美術館のコレクションの中から、高橋由一をはじめ東北ゆかりの萬鉄五郎、松本竣介らの近代絵画、またカンディンスキーやクレーの西洋絵画、さらに「具体美術協会」の作家による戦後美術など選りすぐりの名品を紹介。
MINIATURE LIFE展 田中達也 見立ての世界	７月11日（金）～ ９月23日（火） 72日間	ミニチュア写真家・見立て作家田中達也（1981～）による身近にあるさまざまなモノとミニチュア人形をユニークなセンスで組み合わせて生まれた、小さな不思議な作品の数々を紹介。
Meet Bamboo ！ 丘の上のコレクションと竹との出会い	10月３日（金）～ 11月16日（日） 41日間	大分における竹文化のユニークな価値と魅力をふたたび掘り起こすとともに、現在、大分を舞台に制作に取り組んでいる若手竹工芸作家たちが、当館のコレクションをインスピレーション源として制作した作品を、コレクションとともに展示。
第64回「福田平八郎賞」第57回「朝倉文夫賞」大分市小・中、特別支援学校図画・彫塑展	11月27日（木）～ 12月７日（日） 11日間	郷土出身の日本画家福田平八郎、彫刻家朝倉文夫を顕彰した展覧会。市内小・中、特別支援学校の児童・生徒の作品を紹介。
第74回大分県高等学校文化連盟 書道・写真　中央展	12月11日（木）～ 12月14日（日） ４日間	大分県内高等学校（公立・私立）で学ぶ生徒たちが制作した作品（書道・写真）を紹介する展覧会。
第77回大分県立 芸術緑丘高等学校 美術制作展	12月16日（火）～ 12月21日（日） ６日間	県内で唯一の美術専門コースである大分県立芸術緑丘高等学校美術科で学ぶ生徒が制作した作品を紹介する展覧会。
20世紀北欧デザインの巨匠 スティグ・リンドベリ展	令和７年１月９日（金） ～２月15日（日） 34日間	スウェーデンの陶芸家、デザイナーのスティグ・リンドベリ（1916～82）の陶芸、テキスタイル、絵本の挿絵など約180点によって、その多彩な芸術性を紹介。
第60回大分市美術展	２月27日（金）～ ３月21日（土） 21日間	日本画、洋画・版画、彫刻、工芸、デザイン、書、写真の７部門の作品を公募して紹介する展覧会。

迷路とお城で遊ぼう！　香川元太郎絵本原画展

響きあう絵画　宮城県美術館コレクション
カンディンスキー、高橋由一から具体まで

② コレクション展（常設展）

展示室１～４では、コレクションを中心として、年間16本のテーマ展示を行う。なお、夏は「アート・ワンダーランド2025 アートの舞台裏～美術館のひみつ～」を開催する。

展示室１　福田平八郎や髙山辰雄など、近代・現代の日本画を中心に紹介する。

展示室２　近世の絵画や田能村竹田、帆足杏雨などの豊後南画等を紹介する。

展示室３　佐藤敬など、近代・現代の洋画等を紹介する。

展示室４　生野祥雲斎の竹工芸作品を中心に紹介する。

展示室１

会　　期	展示室１	展示室２	展示室３	展示室４
４月16日（水） ～７月６日（日）	近代の南画と日本画	狩野派の絵画 ～５月18日（日） ５月20日（火）～ 田能村竹田からの手紙	画家が描き出す建築	資料からみる竹工芸
７月９日（水） ～９月15日（月）	〔サマー企画〕 アート・ワンダーランド2025 アートの舞台裏～美術館のひみつ～			
９月18日（木） ～12月21日（日）	人と物語	竹×豊後南画 ～11月９日（日） 11月11日（火）～ 浮世絵の魅力	新世紀群	河合誓徳 磁器に描く風景
12月24日（水） ～令和８年 ４月12日（日）	冬から春へ ―部屋の内・外	江戸の動物画 ～２月15日（日） ２月17日（火）～ 富士讃歌	激動の1940年代	さまざまなかたち

⑵ 各種講座・講演会

① こどものための講座

	講 座 名	期日・期間	定 員	内 容
1	美術教室「お気に入り迷路ボックスをつくろう！」	4月27日（日）	20人	ワークショップ
2	美術教室「お気に入り絵画ボックスをつくろう！」	6月15日（日）	20人	ワークショップ
3	夏のこども講座「はりこのどうぶつ」	7月25日（金）	10組	ワークショップ
4		8月1日（金）	10組	ワークショップ
5		8月9日（土）	10組	ワークショップ
6		8月22日（金）	10組	ワークショップ

② 市民との協働講座等

	講 座 名	期日・期間	定 員	内 容
7	アートカレッジ	6/12、7/3、8/7、9/4、10/2、11/6 全て（木）	30人×6回	美術に関する講話と展覧会解説
8	美術館で音楽会	11/1、11/8、11/15、11/22 全て（土）	80人×2回×4日	応募者による演奏会
9	ボランティア研修	年6回	40人×6回	美術館で活動しているボランティアの研修

③ 連携事業

	講 座 名	期日・期間	定 員	内 容
10	出前教室	通年	—	学校へのアウトリーチ鑑賞教室
11	職場体験	通年	—	中学生の美術館施設見学と仕事体験
12	博物館実習・インターンシップ	8月～9月	—	大学より実習生を受け入れ
13	体験プログラム	通年	—	美術館で「鑑賞」と「制作」体験（学校との連携）

④ その他

	講 座 名	期日・期間	定 員	内 容
14	「第1月曜日は美術館で楽しもう！」	4/7、5/5、6/2、8/4、9/1、10/6、11/3、12/1、2/2、3/2 全て（月）	—	ボランティアによるワークショップ
15	ちびっこ工作ルーム「てとてとて」	10/3、11/7、12/5、1/9、2/6、3/6 全て（金）	—	未就学児童と保護者対象の工作教室
16	出張講演	随時	—	外部の市民団体等からの依頼による講演

⑶ 第60回大分市美術展

美術の各分野における市民の創作活動を促進し、発表と鑑賞の機会を提供することによって、多様で豊かな文化を創造する市民の育成をめざす。

会　期　　令和８年２月27日（金）
　　～３月21日（土）
場　所　　大分市美術館

昨年度（令和６年度）実績

会　期　　令和７年２月28日（金）
　　～３月22日（土）
場　所　　大分市美術館
出品数　　504点（招待出品２点を含む）

第59回大分市美術展

⑷ 福田展・朝倉展

郷土出身の画家故福田平八郎先生、彫刻家故朝倉文夫先生の御遺志を長く本市教育に生かすために「福田平八郎賞」、「朝倉文夫賞」基金条例を制定し、昭和37年度から図画展、昭和44年度から彫塑展を開いて、市内小中児童生徒の図工・美術教育の振興を図っている。

① 福田展の記録

昭和37年５月１日～６日

トキハ文化ホールにおいて福田平八郎画伯近作展が開かれる。

昭和38年２月６日～10日

市条例により「福田平八郎賞」大分市小・中学校図画展がはじまる。

回	期　間	会　場	応　募作品数	入選数	入賞点数
59	令2.12.4～12.13	大分市美術館	40,033	2,560	454
60	令3.12.3～12.12	大分市美術館	39,850	2,540	452
61	令4.12.1～12.11	大分市美術館	39,794	2,522	446
62	令5.11.30～12.10	大分市美術館	39,389	2,524	444
63	令6.11.28～12.8	大分市美術館	38,868	2,532	441

② 朝倉展の記録

昭和42年10月６日～19日

大分文化会館において朝倉文夫遺作展が開かれる。

昭和44年11月６日～10日

市条例により「朝倉文夫賞」大分市小・中学校彫塑展がはじまる。

回	期　間	会　場	入賞点数
52	令2.12.4～12.13	大分市美術館	332
53	令3.12.3～12.12	大分市美術館	328
54	令4.12.1～12.11	大分市美術館	326
55	令5.11.30～12.10	大分市美術館	330
56	令6.11.28～12.8	大分市美術館	327

⑸ 美術館ボランティア

美術館ボランティアは、大分市美術館の教育美術館ボランティアは、大分市美術館の教育普及活動の諸事業に関わりながら個々の芸術・美術に関する教養を高めると共に、市民文化の発展に寄与することを目的とする。

① 活動

美術関係資料の収集整理、所蔵作品の解説、ワークショップの実施、その他展覧会諸事業への協力など。

ワークショップ「エコバッグ作り」

② 研修

大分市美術館美術振興課職員による所蔵作品関連の研修、展覧会レクチャーなど。

⑹ 調査研究

① 美術作品等の調査研究

大分ゆかりの作家、日本及び諸外国の近現代芸術、歴史的文化遺産など大分市美術館の収集方針に沿った美術作品及び関連する美術作品、資料等の調査、研究を行う。

② 展示、保存に関する調査研究

特別展、コレクション展（常設展）でより効果的に展示する技術、方法や所蔵作品のより安全な保管技術、方法について調査、研究を行う。

③ 教育普及活動に関する調査研究

3 アートプラザ

所在地 大分市荷揚町３番31号
電話 538-5000
FAX 538-5060

⑴ 運営方針

ゆとりと豊かさあふれる生涯学習社会をめざし、新しい文化の創造と発信が積極的に行われる場として、気軽に利用できるよう市民サービスにつとめる。

また、大分市出身の世界的建築家磯崎新氏建築作品の模型や資料の展示を行い、建築理念や思想などを広く紹介する。

⑵ 施設の概要

① 沿革

昭和41年(1966)５月	大分県立大分図書館(磯崎新氏設計)として竣工
昭和42年(1967)５月	日本建築学会賞受賞
昭和43年(1968)４月	日本建築年鑑賞受賞
平成６年(1994)８月	大分県立大分図書館新築移転のため閉館
平成７年(1995)４月	大分市が無償貸与を受ける
平成10年(1998)２月	アートプラザ開館
平成19年(2007)４月	指定管理者制度を導入
令和４年(2022)10月	登録有形文化財に登録

② 概要

敷地面積 3,023.4㎡
建築面積 1,599.94㎡
延床面積 4,081.55㎡
構　　造 鉄筋コンクリート造地下１階
地上３階

⑶ 指定管理者制度の導入

① 目的

民間事業者の有するノウハウを活用することで、市民サービスの向上と行政コストの縮減、及び新たな雇用の創出による地域の振興を図る。

② 指定管理者

アートプラザ共同事業体

③ 指定期間

令和６年４月１日～令和９年３月31日

⑷ 事業内容

本館の業務は、貸館業務と常設展示業務に分けられる。

① 貸館業務

ア 施設の用途

㋐ アートホール（２F）

文化・芸術関係団体の展覧会場として、また、各種文化講演会や催事の会場として利用できる。

㋑ ギャラリーA・B（１F）

主として個人やグループによる絵画・書・写真などの創作活動の発表の場として利用できる。

㋒ 研修室（２F）

芸術・文化に関する会議や研修会や講座などに利用できる。

㋓ 実技室（２F）

比較的大きなプレス機を設置して各種版画ができるように準備している。その他多様な芸術活動にも対応できる。

イ 施設紹介

	面積	展示壁面	天井高	収容人員
アートホール	427㎡	116m	5.14m	250人
ギャラリーA	236㎡	78m	2.85m	
ギャラリーB	102㎡	46m	2.85m	
研修室	79㎡		4.66m	70人
実技室	77㎡		4.66m	20人

・ギャラリーA・Bを同時使用することもできる。
・実技室には1.8m×0.9mの作業台が６台あり、水道も設置している。

② 常設展示業務

ア 磯崎新建築模型展示業務（３F及び２F 60'sホール）

磯崎新氏が設計した建築物の精密な模型や資料などを、随時展示替えを行いながら常設展示する。

イ 現代美術作品常設展示業務（2F60'sホール）

1960年代前半に活動した前衛芸術家グループ「ネオ・ダダ」を中心とする現代美術の所蔵作品を、随時展示替えを行いながら常設展示する。

ウ 施設紹介及び展示内容

㋐ 磯崎新建築展示室・60'sホール

展示室は、面積12㎡から111㎡の９つの部屋に分かれており、主要建築模型は60'sホールの一部も使用し展示している。

磯崎新建築展示室

60'sホール

⑸ 利用案内

① 開館時間

午前９時から午後10時まで（ただし３階磯崎新建築展示室は午後６時まで）

② 開館日

年末年始（12月28日～１月３日）を除く全日

③ 利用料

		４月･５月･10月･11月料金	冷暖房期間中料金
アートホール（427㎡）		１日（９時～22時） 9,950円	13,930円
		１時間 1,200円	1,680円
研修室 （79㎡）		１時間 720円	1,000円
実技室 （77㎡）		１時間 220円	300円
市民ギャラリー（338㎡）		１日（９時～22時） 7,850円	10,990円
	A室（236㎡）	１日（９時～22時） 5,500円	7,700円
	B室（102㎡）	１日（９時～22時） 2,350円	3,290円

磯崎 新 建築展示室	観 覧 無 料

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

□ の部分は冷暖房期間です。

④ 受付方法

・使用日の属する月６ヶ月前から、受付を行う。

ただし、芸術・文化活動以外の会議や研修などは３ヶ月前から受付を行う。

また、５日以上連続して行う展覧会については、12ヶ月前から受付を行う。

・受付、空き情報の問い合わせは、年末年始の休館日を除く日の午前９時から午後６時まで。

・電話等による仮押さえは不可。

・利用料は、使用許可の際に納入。

⑹ 利用状況

（令和６年度）

項 目	市民ギャラリーA	市民ギャラリーB	アートホール	実技室	研修室
利用日数	203	241	217	234	225
利用率（%）	57	68	61	66	63

⑺ 新たな知の拠点整備事業

「アートプラザのあり方及び周辺エリア整備基本構想」（令和３年３月策定、以下「基本構想」）におけるアートプラザのあり方の方向性である『新たな知の拠点の創出』の実現のため、令和５年２月に「新たな知の拠点整備概要」（以下「整備概要」）を策定した。今後は、以下の「基本構想」の整備方針、「整備概要」の３つの柱に沿って施設整備を検討していく。

【基本構想における整備方針】

- 荷揚町小学校跡地複合公共施設に市民ギャラリー機能を移設する等の利便性の高い機能的連携を図ります。
- 磯崎新氏関係資料等を公開・閲覧できる場の拡充を検討します。
- 建築や芸術などに興味・関心を持つ次世代の担い手を育むとともに、幅広い世代の市民や研究者等が集い、学ぶ場の提供を検討します。
- デジタルアーカイブを構築・公開し、資料の活用を促進します。
- 若手芸術家・建築家等への創作・研究発表の場の提供を検討します。
- 施設の適切な維持管理を図ります。
- 施設の名称を検討します。

【整備概要の３つの柱】

- 磯崎新氏関係資料等の収集・調査・研究・公開の場
- 幅広い世代の市民や研究者等が集う学びと交流の場
- 建築や芸術などに興味・関心を持つ次世代の担い手を育む場

4　コモンスペース・実技室

所在地　大分市荷揚町３番45号
電　話　589-8241
ＦＡＸ　589-8242

コモンスペース１

コモンスペース２

実技室

⑴　運営方針

市民の芸術文化活動の振興を図り、市民文化の向上に寄与するとともに、中心市街地の賑わいの創出に資することを目的とし、新しい文化の創造と発信が積極的に行われる場として、気軽に利用できるよう市民サービスにつとめる。

⑵　施設の概要

令和６年（2024）４月、大分市荷揚複合公共施設（大分市役所別館）に設置。

展覧会や文化イベント、絵画制作・美術教室などで使用できる施設である。

名称	場所	面積など	設　備
コモンスペース１	荷揚複合公共施設１階	全室：322㎡ 半室：各161㎡ ※半室ずつに分割可 ※半室のみでも使用可	・作品展示用移動式パネル50台 ・作品展示用ワイヤー ・音響機器（アンプ・ワイヤレスマイク）
コモンスペース２	荷揚複合公共施設２階	252㎡	・作品展示用移動式パネル30台 ・作品展示用ワイヤー ・音響機器（アンプ・ワイヤレスマイク）
実技室	荷揚複合公共施設２階	80㎡	・講師用机１台／作業用机６台／椅子25個 ・流し台（蛇口３口）

⑶　使用案内

①　使用可能時間
午前９時～午後９時

②　開館日
年末年始（12月29日～翌年１月３日）を除く全日

③　使用料

施　設　名	１日あたりの料金	１時間あたりの料金
コモンスペース１：全室	12,960円	1,620円
コモンスペース１：半室	6,480円	810円
コモンスペース２	10,160円	1,270円
実技室	－	490円

④　連続使用期間

施　設　名	期　間
コモンスペース１、２	15日間まで
実技室	３日間まで

⑤　申込方法

施設名	受付場所	受付時間	申込期間
コモンスペース１、２	コモンスペース１事務室	午前９時～午後４時 ※休館日を除く	使用希望日の６か月前の１日から使用希望日の７日前まで
実技室	コモンスペース１事務室	午前９時～午後４時 ※休館日を除く	
	おおいた公共施設案内 ・予約システム	24時間	